

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2023年 第18週 (5/1-5/7) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		18週	17週	16週	15週
小児科		17	18	18	18
眼科		5	5	5	5
インフルエンザ*		26	28	28	28
基幹定点		1	1	1	1

上段: 患者数  
下段: 定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数

定点	感染症名	千		葉		市		千葉県
		注意報	5/1-5/7	4/24-4/30	4/17-4/23	4/10-4/16	4/24-4/30	
			18週	17週	16週	15週	17週	
小児科	RSウイルス感染症		1	2	3	1	31	
	咽頭結膜熱		0	0	2	2	36	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9	9	10	4	78	
	感染性胃腸炎	↓	71	81	83	64	489	
	水痘		1	2	1	0	15	
	手足口病		1	0	0	0	20	
	伝染性紅斑		0	0	0	0	1	
	突発性発しん		9	8	10	5	41	
	ヘルパンギーナ		2	0	0	0	7	
	流行性耳下腺炎		1	4	1	1	8	
インフル	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	↓↓	29	48	44	39	364	
眼科	急性出血性結膜炎		0	2	0	0	2	
	流行性角結膜炎		0	1	1	0	12	
基幹定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0	
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0	
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0	
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0	

★★: 流行中 ★: やや流行中 ◎: 増加 ○: やや増加 →: 変化なし ↓: やや減少 ↓↓: 減少

## 2 全数報告対象疾患: 123 例 ※ 新型コロナウイルス感染症121例は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	30歳代	IGRA検査	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代-100歳代	病原体遺伝子の検出等
侵襲性肺炎球菌感染症	女性	30歳代	病原体の分離・同定	-	-	-	-

・第18週は、結核1例(40)、侵襲性肺炎球菌感染症1例(4)、新型コロナウイルス感染症121例(6,112)の発生届があった。

※ ( )内は2023年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第18週のコメント

### <感染性胃腸炎>

前週よりやや減少し、4.18となった。過去10年の同時期と比べるとやや少なめ。年齢階級別の報告数は2歳で最多。区別の発生状況は、若葉区(10.50)で最多で、同区の2歳及び7歳で最も多く発生報告があった。

### <インフルエンザ>

前週より減少し1.12となった。過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベル。年齢階級別の報告数は10-14歳で最多で、10歳未満では4歳、5歳及び7歳が多かった。区別の発生状況は、緑区(3.00)で最多で、同区の10-14歳で最も多く発生報告があった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2022.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

[https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph\\_ward2022.pdf](https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2022.pdf)